



令和2年度 事業報告書

～ 先が見えない時期だからこそ 寄り添える組織でありたい ～



経営理念

みんなの参加と協働で、「しふく(至福)のふくし(福祉)」を実現します。

一人ひとりの思いを大切に、寄り添えるサービスを届けます。

みんながずっとこの町で暮らしていけるよう、お手伝いできる社協をめざします。

みんなの未来のために、いつも前向きに歩む社協であり続けます。



みんなの「生きる」を
社会福祉法人

小山町社会福祉協議会は
全国社会福祉法人経営者協議会会員法人です！

社会福祉
法人

小山町社会福祉協議会

◆◆◆◆ 小山町社会福祉協議会は共同募金の助成団体です ◆◆◆◆



このマークが表記されている事業は、共同募金の助成を受けています

事業報告

1 福祉のひとづくりの推進	
(1) 広報啓発活動の推進	1
(2) 福祉教育(共育)活動の推進	1
(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進	2
(4) 住民参加の活動を支える	3
2 共生の地域づくりの推進	
(1) 相談支援体制の推進	6
(2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進	8
(3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長	11
(4) 権利擁護体制づくりの推進	12
3 福祉の基盤づくりの推進	
(1) 高齢者等への支援活動の推進	16
(2) サービスの提供力を高める	17
(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決の推進	20
(4) 法人組織の基盤を強める	21
(5) 安定した自主財源の確保	31
4 指定介護保険事業の経営	
(1) 居宅介護支援事業所の経営	32
(2) 訪問介護事業所の経営	34
5 指定障害福祉サービス事業の経営	
(1) 居宅介護事業の経営	36
(2) 就労継続支援B型事業の経営	36
6 その他	
(1) 行政関係機関による監査及び実地指導の受検	39
(2) 各種団体等との共催・後援・協賛・運営・連携事業の展開	39
(3) 各種表彰候補者推薦事務の実施	39
(4) 他機関・団体からの表彰	40
(5) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施	40
(6) 県内外からの視察・研修の受け入れ	40
(7) 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録促進及び活動の連携 ...	40
(8) 関係機関・団体の委員等就任による提言活動の推進	40

事業報告の付属明細書

令和2年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

1 福祉のひとづくりの推進

(1) 広報啓発活動の推進

ア 地域福祉活動情報紙「つながり」の発行

町民等に対し地域福祉に対する理解や関心をより深めてもらえるよう、本会事業の紹介、地域で展開されているさまざまな地域福祉活動等についての情報提供を行った。

〔配布方法〕 全戸配布(協力;小山市町長会)

号数	期日	発行部数
第25号	令和2年6月15日	各6,650部
第26号	令和2年9月15日	
第27号	令和2年12月15日	
第28号	令和3年3月15日	6,750部



イ 本会ホームページの管理運営・情報公開の促進

本会のホームページを管理運営し、定期的に情報を更新、地域福祉活動活動情報紙「つながり」と同様に本会活動を紹介、行事の案内、各種情報等を広く公開した。

ウ 年度版法人案内パンフレットの発行

経営理念、事業体制及び事業内容、組織及び組織運営等をまとめたパンフレットを発行し、主催事業の開催の機会を捉えて配布することにより本会に対する理解促進を図った。

〔発行期日〕 令和2年11月16日

〔発行部数〕 300部

エ 2020小山市ふれあい広場の開催

中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

オ 小山市社会福祉大会の開催

規模縮小 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

〔期 日〕 令和2年11月16日(月)

〔会 場〕 小山市健康福祉会館・多目的ホール

〔内 容〕 表彰式典(町社協会長表彰・感謝状、県共募会長感謝状 他)

〔来場者数〕 延38名(本会役員16名、被表彰者22名)



カ 福祉講演会の開催

中止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

(2) 福祉教育(共育)活動の推進

ア 福祉系大学や専門学校学生等実習生の受入れ

小山市及び近隣市町出身で社会福祉関係を専攻している学生の現場実習の指導を通じて社会福祉理念の構築と実務経験のための実習生の受入れを行った。

〔受入区分〕 社会福祉援助技術現場実習等

〔受入体制〕 社会福祉士実習指導者養成研修修了者(社会福祉士4名)

〔受入実績〕 学校名等 静岡福祉大学社会福祉学部4年 1名

受入期間 令和2年8月17日(月)～9月16日(水)

計23日間



イ 中学生職場体験学習の受入れ

町内中学校が「総合的な学習」及びキャリア教育の一環として、生徒一人ひとりの興味、関心適性などに沿って実施する職場体験学習の受け入れを行った。

受入年月日	受入人数	備 考
令和2年10月27日(火)	2名	小山町立小山中学校 2年(2名)
令和2年10月28日(水)	1名	小山町立須走中学校 2年(1名)
令和2年10月29日(木)	3名	小山町立須走中学校 2年(1名)
		小山町立須走中学校 3年(2名)
計	6名	

ウ 福祉のお仕事魅力発見セミナー(静岡県社会福祉人材センター主催)の協力開催

【期 日】 令和2年7月6日(月)
【会 場】 小山町立須走中学校
【参加者】 計30名(3学年 生徒26名、教職員4名)
【講 師】 原 秀人氏(本会 常務理事・事務局長)
勝俣恵介氏(デイサービスふるさと倶楽部 管理者)



(3) ボランティアの輪を広げる活動の推進

ア ボランティアセンターの運営

ボランティア活動が地域社会に定着するために、一部の限られた人たちが活動を行うのではなく、地域のさまざまな人たちが、気軽に、楽しく、日常的に活動に参加できるよう支援に努めた。

事業内容	(1) ボランティア活動や住民活動に関する情報提供及び相談・連絡調整 (2) ボランティアの登録やニーズの受付 (3) ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の加入促進 (4) 民間福祉財団等による助成事業の案内・推薦 (5) 生活支援コーディネーターとの連携による人材発掘及び組織化支援
------	---

イ 第38回サマーショートボランティア活動計画の実施(静岡県ボランティア協会との共催)

中 止 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

ウ 災害ボランティアのネットワークづくり

予想される東海地震や神奈川県西部地震や局地的な風水雪害などの自然災害に備え、被災地域の復旧・復興に不可欠な「災害ボランティアセンター」を中心としたボランティア活動が効果的かつ円滑に行われるよう、平常時から町行政を含めた県内外の関係機関や団体との連携を強化し、災害ボランティアにかかる機能的な体制づくりのための取り組みを行った。

取組内容	(1) 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の実施や必要資機材の整備 (2) 災害ボランティア関連研修事業の開催 (3) 平常時における関係機関との連携強化 (4) 災害ボランティア活動に関する意識高揚を目的とした啓発活動の実施 (5) 県内外の機関や団体と連携した訓練への関係者の参加等 (6) 本会のBCP策定に伴う災害ボランティアセンター運営マニュアル見直し
------	--

エ 災害対応研修会の開催

多様化する大規模災害の場面において、社会福祉協議会やボランティア団体等が被災者支援の一翼を担っているが、市町災害ボランティアセンターで抱える課題、避難所運営、外部団体の支援のあり方を含め、町民や関係機関・団体、福祉施設・事業所等とともに、平時における連携強化を図ることを目的に開催した。

【期 日】 令和3年2月7日(日)

【会 場】 ハイブリット型オンライン研修(Zoom&小山町健康福祉会館)

【内 容】 被災地における支援活動

【講師等】 李 仁鉄氏(にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長)

三田響子氏(相模原市社会福祉協議会 中央ボランティアセンター職員)

【参加人数】 23名(講師等2名、オンライン参加者18名、会場参加者3名)

うち 社協職員15名

(4) 住民参加の活動を支える

ア 福祉関係団体の事務受託

福祉関係団体の活動基盤強化のため、必要な事務受託を行うとともに、その自主性を尊重し、自立へ向けての支援を行った。(書面による委託契約の締結あり)

【団体別事務受託状況】

No.	団体名	経理事務		代表者印管理		預金通帳管理	
		団体	本会	団体	本会	団体	本会
1	小山町共同募金委員会		○		○		○
2	小山町シニアクラブ連合会		○		○		○
3	小山町手をつなぐ育成会	○		○		○	
4	小山町赤十字奉仕団	○			○	○	
5	小山町母子寡婦福祉会	○			○	○	
6	小山町身体障害者福祉会	○			○	○	
7	小山町遺族会	○			○	○	
8	小山町忠霊奉賛会		○		○		○

イ 地域福祉活動事業費助成事業の実施

赤い羽根共同募金の配分金を財源とし、自主的に地域福祉活動を実践しようとする団体やグループ及び小規模施設からの申請に基づき事業費助成を行った。

助成団体数	8団体
助成決定額	445,000円

ウ 民生委員児童委員協議会との連携による地域福祉活動の推進

民生委員児童委員協議会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

ア) 定例会への出席

民児協関連の社協事業にかかる各種報告等(原則として毎月第4水曜日)

イ) 共同募金運動の連携

・赤い羽根募金協力企業等訪問活動の連携協力

・歳末たすけあい世帯激励金配分にかかる連携

ウ) 福祉総合相談事業の連携

心配ごと相談員への就任及び相談対応

エ) 地区会や部会との連携

各種研修や事業についての相談対応・連携強化

エ 区長会との連携による地域福祉活動の推進

区長会との連携協働による地域福祉活動の推進を図った。

- ア) 区長会への出席
会員増強運動や共同募金運動への協力依頼
- イ) 会員世帯等に対する広報紙の配布
各区を通じた配布依頼
- ウ) 施設提供等協力依頼
ふれあい茶論等の実施に伴う施設提供依頼
- エ) その他
区長会に対する年間協力費の支払い

オ 歳末たすけあい募金配分事業の実施

新たな年を迎える年末の時期に、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう支援するため、激励金の贈呈を行った。当該世帯への見舞金の贈呈にあたっては、対象世帯から申請方式とし、生活状況を十分把握したうえで、本人の意思を確認しながら、民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施した。福祉関係当事者団体や小規模施設等が実施する事業に対し事業費の助成を行った。

なお、激励金品の支給や事業費助成について、適正かつ効果的な配分を行うため、歳末たすけあい事業配分委員会を設置した。

- ア) 歳末たすけあい事業配分委員会の開催

【第1回】

- 【期 日】 令和2年9月17日(木)
- 【会 場】 小山町健康福祉会館
- 【出席者】 委員7名(本会1名・民生委員児童委員5名・職員1名)

【第2回】

- 【期 日】 令和2年12月11日(金)
- 【会 場】 小山町健康福祉会館
- 【出席者】 委員7名(本会1名・民生委員児童委員5名・職員1名)

- イ) 世帯激励金等申請受理件数

34世帯(うち3世帯が照会・協議の結果、配分対象外)

- ウ) 世帯激励金の配分実績

配分金額	計603,000円(配分事務経費を除く)	
配分世帯数	31世帯(世帯人数55名)	
世帯種別内訳	ひとり暮らし高齢者世帯	13世帯・13名
	ひとり親世帯	9世帯・22名
	障害者・児世帯	7世帯・12名
	その他の生活困窮世帯	2世帯・8名

※ 配分依頼民生委員児童委員数;20名

- エ) 地域福祉活動事業費助成実績

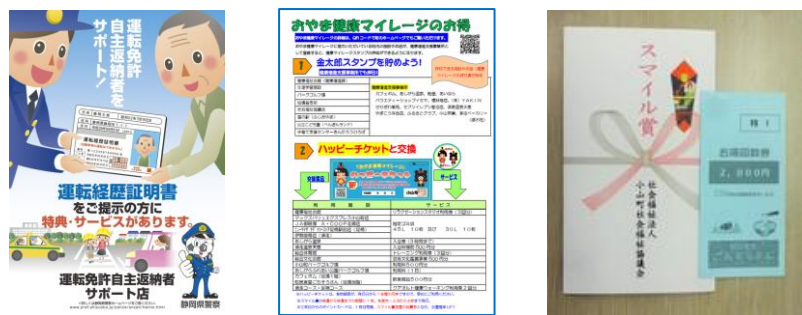
No.	団体名等	件数・人数
1	小山町母子寡婦福祉会	1件
2	小山町手をつなぐ育成会	1件
3	特定非営利活動法人おでかけクラブ	2件・27名
4	ふれあい茶論運営団体	6件・122名
5	放課後児童クラブ	5件・213名
計	14団体	236,700円(配分事務経費を除く)

カ 運転免許自主返納者等サポート事業への加盟・協力

- [事業主体] 静岡県警察本部
[対 象] 運転免許自主返納者等で運転経歴証明書を提示した者
[内 容] 本会が運営する「カフェ・ポム」及び「町民食堂ごちそうさん」の共通利用券
 (1名あたり年間1,000円分)を一括で贈呈
[贈呈件数] 0件

キ おやま健康マイレージ事業への協賛

- [内 容] ア) 健康増進支援事業所登録(同事業のPR、カード配布、ポイント押印等)
 イ) ハッピーチケット活用事業(カフェ・ポム及びカフェ・アップルの飲食500円分)
 ウ) スマイル賞協賛(町民食堂ごちそうさん 回数券2,200円分×4セット)



(1) 相談支援体制の推進

ア 福祉総合相談所の運営

町民が抱える生活課題の解決に向けて、各種相談体制を整備するとともに、関係相談機関と連携し対応した。

〔延開設日数〕 108日

〔延相談受理件数〕 62件

(1) 介護相談	開設日	毎週火曜日
	相談員	介護支援専門員
	開設日数	47日
	相談受理件数	16件
(2) 法律相談	開設日	指定の水曜日(毎月1回)
	相談員	弁護士
	開設日数	12日
	相談受理件数	31件
(3) 心配ごと相談	開設日	毎週木曜日
	相談員	民生委員児童委員・主任児童委員 人権擁護委員
	開設日数	49日
	相談受理件数	15件

イ 包括的支援体制構築事業の実施【小山町受託事業】

相談支援包括化推進員を配置し、福祉的ニーズの多様化・複雑化を踏まえ、制度の狭間の問題や複合的な課題等を当事者のみの問題ではなく家族全体の問題として捉え、高齢者、障がい者、児童福祉等の区別なく、生活困窮、ひきこもり、住まい、社会参加・就労等様々な視点から、多機関の協働による包括的な相談支援体制を構築するため下記の取り組みを行った。

〔取組内容〕

- ・多職種連携の枠組みの構築
- ・地域住民が自ら問題を把握し、解決を図る環境整備
- ・地域住民への研修等

〔取組実績〕

地域生活課題に関する相談件数等(含 相談に対する情報収集)			
実件数	143件(うち新型コロナウイルス感染症関係 46件)		
来談者数	137名		
相談種別	生活困窮 82件	いじめ 1件	虐待 3件
	医療 3件	介護 8件	福祉サービス利用 17件
	育成 3件	障がい 12件	ひきこもり 4件
	地域生活 2件	成年後見 38件	就労 39件
	嫌がらせ 4件	その他 7件	

来談者等に対する支援件数及び内容		
実 件 数	118件	
改善件数	60件	
主 たる 支援内容	専門機関等の紹介 20件	制度の紹介 21件
	他機関へのつなぎ 45件	専門職に対する相談 3件
	チーム支援 5件	関係機関との情報共有 26件
	相談受理のみ 20件	その他 15件

ネットワーク会議・個別ケース会議開催件数		
ネットワーク会議調整件数	11件	
個別ケース会議開催件数	1件	

ウ 生活支援体制整備事業の実施【小山町受託事業】

生活支援コーディネーターを配置し、町・地域包括支援センターと協働で、地域の生活課題やニーズを把握し、地域の中で解決できるよう、仕組みづくりの推進と環境整備に取り組んだ。

[取組内容]

- ・居場所やふれあい茶論並びに体操教室等における生活課題の聴き取りを通じた地域住民や関係機関との問題共有
- ・地域生活課題に関する相談を包括的に受け止め、解決に結びつける体制づくり
- ・地域の団体等と連携した地域での支えあいや見守り等の体制整備を支援 他

[取組実績]

生活支援コーディネーターの配置		
配置人数	4名(常勤・兼務)	

生活支援体制整備事業打合せ会議の開催		
第1回	令和2年6月4日(木)	
第2回	令和2年8月3日(月)	
第3回	令和2年8月11日(月)	
第4回	令和3年2月15日(月)	
第5回	令和3年3月19日(金)	

各種会議等への生活支援コーディネーター等の出席		
令和2年6月29日(月)	第1回ふれあい茶論運営協力委員連絡会	
令和2年7月3日(金)	第1回小山町介護事業者連絡会	
令和2年7月9日(木)	壮年熟期活躍長寿社会づくり事業打合せ	
令和2年8月26日(水)	第2回小山町介護事業者連絡会	
令和2年9月14日(月)	ふれあい茶論のあり方に関する検討協議	
令和2年9月17日(木)	県下社協移動支援サービス運営システム研究会	
令和3年1月7日(木)	第3回小山町介護事業者連絡会	
令和3年2月8日(月)	小山町こころの健康づくり推進連絡会	
令和3年3月1日(月)	おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議	
令和3年3月12日(金)	第2回ふれあい茶論運営協力委員連絡会	

本会の実施事業を通じた体制整備や調査研究等		
(1) ふれあい茶論 (2) 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」 (3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決に向けた取組 (4) 福祉車両貸出事業 (5) 高齢者向け配食サービス“おまち堂” (6) 福祉有償運送事業の研究と実施に向けた体制づくりの検討協議		
「断らない相談」との一体的実施		
ネットワーク会議への生活支援コーディネーターの出席	第1回	令和2年5月13日(水)
	第2回	令和2年6月10日(水)
	第3回	令和2年7月8日(水)
	第4回	令和2年8月12日(水)
	第5回	令和2年9月9日(水)
	第6回	令和2年10月14日(水)
	第7回	令和2年11月11日(水)
	第8回	令和2年12月9日(水)
	第9回	令和3年1月13日(水)
	第10回	令和3年2月10日(水)
	第11回	令和3年3月10日(水)

(2) 生活困窮者自立促進支援事業の推進

ア 静岡県自立相談支援事業の実施【静岡県受託事業】

ア) 事業概要

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立の促進を図った。

イ) 事業運営方式

ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムの構成法人による連携協働

ウ) 構成法人

- ・本会を含む県内12町社会福祉協議会
- ・特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡
- ・静岡県社会福祉協議会(代表法人)

エ) 業務内容

生活支援・相談センターを設置するとともに、相談支援員(2名)を配置し、総合相談受付、緊急対応、他機関へのつなぎ、アセスメント、プラン作成、モニタリング、評価、支援調整会議、関係機関との調整、支援者開発、ニーズ掘り起し等の業務を行った。

オ) 小山町支援調整会議の開催

【構成機関等】静岡県社会福祉協議会、静岡県東部健康福祉センター、小山町
小山町教育委員会、沼津職業安定所御殿場出張所
NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、小山町社会福祉協議会 他

小山町支援調整会議の開催状況		
第1回	令和2年5月26日(火)	2機関・4名 出席
第2回	令和2年7月17日(金)	8機関・20名 出席
第3回	令和2年9月11日(金)	8機関・17名 出席
第4回	令和2年11月13日(金)	8機関・17名 出席
第5回	令和3年1月15日(金)	6機関・15名 出席
第6回	令和3年3月12日(金)	7機関・13名 出席

力) 生活困窮者自立支援制度に関する支援実績

新規相談受付件数(総数)		70
プラン策定前支援終了件数(総数)		20
支援決定・確認件数		37
就労支援対象者数(プラン期間中の一般就労を目的としている)		9
法に基づく事業等利用件数	住宅確保給付金	9
	一時生活支援事業	1
	家計相談支援事業	5
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	7
その他	生活福祉資金等による貸付	9
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0
評価実施件数(含 再プラン)		20

イ ふじのくに型学びの心育成支援事業の実施【静岡県受託事業】

ア) 事業概要

【子どもの学習支援・生活支援事業】

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、学習支援を行い、生活困窮世帯の子どもの高等学校への進学を促進することにより、就職率を向上し、生活困窮世帯等の子どもの自立促進を図った。さらに、高校生世代を対象とした多様な進路の選択に向けた助言や情報提供を行うことにより、若年層における就労意欲の向上を図った。

イ) 実施日数

区分	小計	合計
夏季休業期間(令和2年8月17～19日)	3日	5日
冬季休業期間(令和2年12月25～26日) ※感染拡大を考慮し個別訪問形式による対応	2日	

ウ) 学習支援教室(おやま学習アシスト教室)の設置場所

小山町健康福祉会館

エ) 児童・生徒の無料送迎サービス(希望世帯のみ)

本会業務用車両による

オ) 教育支援員登録者数

4名(男性2名・女性2名)



カ) 利用実績

	実人数	延人数		
		計	夏季休業期間	冬季休業期間
小学生	11名	32名	15名	17名
中学生	0名	0名	0名	0名
計	11名	32名	15名	17名

ウ 生活困窮世帯向け緊急食糧支援事業の連携実施

ア) フードドライブの連携実施

まだ安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食料を、企業や個人から寄贈を受け、生活困窮者等、支援を必要としている人に適切に配るフードバンク事業やフードドライブ事業を地域の仕組みとして確立させ、相互扶助の社会づくりをめざすことを目的として、NPO法人フードバンクふじのくに等と本会が事業連携し実施した。

事業名		生活困窮世帯向けフードバンク事業		
受付期間	夏季	令和2年8月1日(土)～31日(月)		
	冬季	令和3年1月4日(月)～31日(日)		
寄贈品重量	夏季	本会 311.8kg (県内 11,700kg)	年間 総重量	本会 441.8kg (県内 30,700kg)
	冬季	本会 130.0kg (県内 19,000kg)		
活用実績	延54世帯・112名分			
	フードバンクふじのくに	通	常	延17世帯・32名分
		コロナ対策		延18世帯・57名分
	本会 独自支援事業			延19世帯・23名分



イ) 商品寄贈に伴う食料費や日用品無償配分事業の連携実施

株式会社セブン-イレブン・ジャパンが地域のセブン-イレブン店舗での改装時などに発生する在庫商品の一部を、静岡県社会福祉協議会へ寄託し、食品ロス削減への対応、社会貢献活動に役立てることをねらいに、本会を通じ支援を必要とする個人・世帯、社会福祉施設等に提供する事業である。本会では、小山町教育委員会を通じて、児童扶養手当全額受給世帯に案内チラシを配布し、当該世帯に対する食料品・日用品等の配分による支援を行った。

【配分期日】 令和3年2月9日(火)～19日(金)

【配分場所】 小山町健康福祉会館

【配分実績】

受領数等	ダンボール箱 164ケース(品目・数量は省略)	
配分先	経済的困窮世帯	15世帯
	放課後児童クラブ	5施設
	おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人	17法人

ウ)「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施

生活困窮世帯等の子どもを主な対象とした食事の無償提供を通じて、関係団体との新たなネットワークの構築と、生活ニーズの把握、きめの細かな支援につなぐことができた。

会館内での受け渡し（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

〔開催実績〕

連携団体	御殿場・小山フードバンク協議会 他
期 日	令和3年3月20日(土)
会 場	小山町健康福祉会館
配 布 数	15食(6世帯・15名分)



(3) 資金貸付による経済的自立及び生活意欲の助長

ア 小山町生活福祉資金貸付事業の実施

本会貸付要綱に基づき、低所得世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立と安定した生活のための支援を行った。

〔資金種類別の新規貸付実績〕

計	4件	40,000円	前年度比 4件減
日常生活費	4	40,000	前年度比 4件減
就学費	0	0	前年度比 増減なし
家屋補修費	0	0	前年度比 増減なし

イ 静岡県生活福祉資金貸付事業の実施【静岡県社会福祉協議会受託事業】

静岡県社会福祉協議会から事務の一部を受託し、低所得世帯、障害者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸し付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図った。

また、生活福祉資金貸付事務の迅速化と、きめ細かな援助指導を行うために、静岡県社会福祉協議会から助成を受け、専任の相談員(2名／兼務)を配置した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による収入の減少に伴う個人向けの「緊急小口資金等特例貸付」及び「総合支援資金特例貸付」を令和2年3月25日から引き続き実施した。(国の方針により、令和3年6月30日まで再々延長となった。)

ア) 受託事務の内容

- ・資金貸付の広報業務
- ・借入申込者に対する支援業務
- ・借受人に対する支援業務
- ・関係機関との連携・連絡・調整等業務
- ・資金貸付及び償還に関する書類の交付、受付・検討、県社協への送付業務
- ・償還に関する協力業務
- ・借入申込者及び借受人の属する世帯の調査に関する業務 他

イ) 資金種類別の新規貸付実績

計	47件	12,400千円	前年度比 43件増
総合支援資金	11	6,300	前年度比 11件増
うち 特例貸付分	11	6,300	
福祉資金	0	0	前年度比 増減なし
緊急小口資金	36	6,100	前年度比 32件増
うち 特例貸付分	36	6,100	
教育支援資金	0	0	前年度比 増減なし
不動産担保型生活資金	0	0	前年度比 増減なし

ウ 静岡県生活福祉資金貸付事業専任相談員の配置【静岡県社会福祉協議会受託事業】

生活福祉資金貸付事務の迅速化と、きめ細かな援助指導を行うために、静岡県社会福祉協議会から助成を受けて相談員(2名／兼務)を配置した。

[相談受付実績] 延82件

(4) 権利擁護体制づくりの推進

ア 小山町権利擁護支援センター事業の実施【小山町受託事業】

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が不十分であっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、財産や権利を擁護する体制をつくり、成年後見制度の総合的な推進を図った。

ア) 業務内容

- ・成年後見制度に関する相談対応
- ・成年後見制度に関する普及啓発
- ・市民後見人養成等に関する業務
- ・市民後見人活動支援に関する業務
- ・関係機関との連携及び調整 他

イ) 業務実績

項 目	件数等
権利擁護及び成年後見制度に関する相談対応件数	41件
成年後見制度利用支援	30件
権利擁護及び成年後見制度に関する広報及び啓発	
「市民後見人養成講座説明会開催案内」(広報おやま 8月15日号)	
「市民後見人養成講座説明会開催案内」チラシの全戸配布(8月15日付け)	
本会地域福祉活動情報紙「つながり」第27号への記事掲載	
おやま権利擁護通信の発行 第1号;令和2年9月1日 第2号;令和2年11月1日 第3号;令和3年1月15日 第4号;令和3年3月15日	発行部数 6,650部 6,650部 6,700部 6,750部
小山町権利擁護支援センター相談担当者打合せ会	
期日;令和2年9月29日(火)	9名
市民後見人候補者名簿への登録及び同名簿の管理(登録者数)	—
家庭裁判所への市民後見人候補者の推薦(被推薦者数)	—
市民後見人への活動支援	—
地域連携ネットワーク会議の運営(会議開催回数)	—
その他成年後見制度利用促進活動	
【静岡県社協との協働調査】 成年後見制度に関する実態把握調査 実施期間;令和2年10月1日(木)～11月2日(月)	協力事業所数 町内21か所
【本会単独調査】 成年後見制度申立に係る診断書についてのアンケート調査 実施期間;令和3年3月29日(月)～4月15日(木)	協力医療機関数 町内7か所

項 目			件数等
成年後見制度利用促進に伴う関係機関等との打合せ			－
小山町(介護長寿課)	第1回	令和2年5月19日(火)	本会 3名
	第2回	令和2年7月1日(水)	本会 2名
	第3回	令和2年11月2日(月)	本会 1名
御殿場市・小山町		令和2年6月25日(木)	本会 2名
静岡県成年後見制度利用促進協議会への出席			1回・延1名
権利擁護支援センター職員対象の研修会への参加			9回・延16名
支援者のための成年後見制度研修会の開催 (参加対象;小山町内の福祉施設・事業所職員、実地研修受講者)			
第1回	[期 日] 令和3年3月5日(金) [会 場] 小山町健康福祉会館及びZoom対応 [内 容] 成年後見制度の申立について [講師等] 鈴木修司氏(リーガルサポート静岡支部) 佐々木千洋氏(静岡家庭裁判所)		24名
第2回	[期 日] 令和3年3月17日(水) [会 場] 小山町健康福祉会館及びZoom対応 [内 容] 事例を通じた成年後見制度の相談から利用 [講師等] 鈴木修司氏(リーガルサポート静岡支部) 山本智春氏(小山町介護長寿課) 臼井明宏氏(老健おやまの杜) 田代美恵氏(駿東学園障害者相談支援事業所 なでしこ)		30名
「御殿場市・小山町市民後見人養成講座」説明会の開催			
第1回	[期日] 令和2年9月3日(木) [会場] 御殿場市民交流センターふじざくら		35名
第2回	[期日] 令和2年9月4日(金) [会場] 小山町総合文化会館		24名
「御殿場市・小山町市民後見人養成講座」の開催			
[期 日] 令和2年10月1日(木)～12月17日(木) [回数等] 全10日間・50時間 [会 場] 御殿場市民交流センターふじざくら 他 [受講者] 24名(小山町 6名、御殿場市 18名)			
実地研修の実施			
受 講 者 数		5名	
延受講回数		53回	
フォローアップ研修の開催			
第1回	[期日] 令和2年9月29日(火) [会場] 小山町健康福祉会館 [内容] 任意後見制度について コロナ禍における支援の留意点 [講師] 鈴木修司氏(リーガルサポート静岡支部)		4名
第2回	※ 再掲 [期日] 令和3年3月5日(金)		7名
第3回	※ 再掲 [期日] 令和3年3月17日(水)		9名

イ 法人後見事業の実施

静岡家庭裁判所の選任を受け、認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な人に対して、本会が成年後見人、保佐人、または補助人となり、本人の判断能力を補い、安心して日常生活を送ることができるよう支援した。

ア) 業務内容

- ・法人後見の受任
- ・法人後見支援員の登録
- ・法人後見支援員の活動支援

イ) 受任件数

	計	類型内訳		
		後見類型	補佐類型	補助類型
受任件数	1件	1件	0件	0件
うち 新規受任	0	0	0	0
うち 受任終了	0	0	0	0

ウ 日常生活自立支援事業の実施 【静岡県社会福祉協議会受託事業】

日常生活に不安のある高齢者や20歳以上の障害者(知的障害・精神障害)などの町民を対象とし、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、サービスの選択や契約を支援した。また、料金の支払い、日常の金銭管理などできるだけ不安の少ない生活を送れるよう援助に努めた。

ア) サービス内容

- ・福祉サービスの利用援助
(利用手続きの援助、通知確認などの援助、利用料の支払いなど)
- ・日常的な金銭管理
(年金や手当の受領確認、生活費に要する預貯金の払戻しなど)
- ・書類等の預かりサービス
(普通預金通帳、定期預金通帳、保険証書、不動産権利書、実印など)

イ) 業務内容

- ・相談受付業務に関する事項
- ・利用契約締結の判断に関する事項
- ・利用契約締結(契約書一式の作成を含む)に関する事項
- ・支援計画に基づく援助に関する事項 他
- ・その他受託業務の遂行に必要な事項

ウ) 実施体制

- ・専門員 2名(兼務)
- ・生活支援員 9名(専門研修修了者)

エ) 相談等受任件数

計558件(前年度比 349件増)



問い合わせ件数	0件	前年度比 1件減
認知症高齢者等	0	
知的障害者等	0	
精神障害者等	0	
その他	0	
初回相談件数	9	前年度比 4件減
認知症高齢者等	4	
知的障害者等	0	
精神障害者等	3	
その他	2	
相談援助件数	549	前年度比 354件増
認知症高齢者等	266	
知的障害者等	0	
精神障害者等	219	
その他	64	

オ) 利用実績

実利用者数	5名	前年度比 2名増
うち 書類預かりサービス実利用者数	5名	前年度比 2名増
日常的金銭管理サービス利用件数	延120件	前年度比 8件増

カ) 契約締結審査会への出席

〔期 日〕 令和2年12月10日(木)

〔会 場〕 WEB会議

〔出席者数〕 1名

キ) 福祉サービス利用援助事業の実施状況に関する訪問調査の対応

〔期 日〕 令和2年7月16日(木)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔調査者〕 静岡県福祉サービス運営適正化委員会 事務局長 佐野明人氏

〔立会者〕 事業実施主体(静岡県社会福祉協議会)権利擁護課職員

〔内 容〕 日常的金銭管理サービス等の実施状況等

ク) 運営監視合議体への出席

〔期 日〕 令和2年9月10日(木)

〔会 場〕 静岡県総合社会福祉会館

〔主 催〕 静岡県福祉サービス運営適正化委員会

〔出席者〕 本会2名

〔内 容〕 福祉サービス利用援助事業の実施状況に関する訪問調査の結果報告

3 福祉の基盤づくりの推進

(1) 高齢者等への支援活動の推進

ア ふれあい茶論の開催(地域介護予防活動支援事業)【小山町受託事業】

高齢者の介護予防と仲間づくり及び社会参加等をねらいとして開催した。

ア) 開催実績

開催規模等を考慮し一部地域で開催（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）

〔開催回数〕10回

〔運営協力者〕ふれあい茶論運営協力委員 16団体・137名

〔参加者〕延278名(うち 65歳未満の運営協力委員 4名)

〔協力者〕民生委員児童委員、単位シニアクラブ役員、ボランティア他

〔月別実績〕

月別	回数	参加者数	月別	回数	参加者数
4月	－	－(－)	10月	－	－(－)
5	－	－(－)	11	1	32(0)
6	－	－(－)	12	5	124(1)
7	1	23(2)	1	1	36(0)
8	－	－(－)	2	－	－(－)
9	2	59(1)	3	－	－(－)

参加者数欄()内の数値・・・65歳未満の運営協力委員数

イ) ふれあい茶論運営協力委員連絡会の開催

第1回	期 日	令和2年6月29日(月)	
	会 場	小山町健康福祉会館	
	出席者数	38名(運営協力委員19名 単位シニアクラブ15名 町行政1名、本会3名)	
第2回	期 日	令和3年3月12日(金)	
	会 場	小山町健康福祉会館	
	出席者数	26名(運営協力委員2名、講師1名、本会3名)	

イ 緊急通報体制整備事業の実施【小山町受託事業】

独居高齢者等による緊急時通報のための機器を設置することにより、安心安全な在宅生活の支援を行った。

ア) 設置機種

シルバーホンあんしんS(NTT社製)

イ) 対応業務

- ・事業の広報業務
- ・設置申込者に対する支援業務
- ・設置工事業者との工事日の調整業務
- ・設置時の立会に関する業務
- ・設置利用者に対する使用方法の説明業務
- ・消防本部や通報協力者との連絡調整等業務
- ・NTTに対する使用料支払いに関する業務
- ・長期入院や施設入所、死亡等による撤去時の立会に関する業務
- ・その他必要と認められる業務



ウ) 利用実績

実利用者数	48名	前年度比 5名減
うち 新規利用者数	1名	前年度比 3名減
うち 撤去利用者数	6名	前年度比 4名増
延利用件数	551件	前年度比 12件減

ウ 宅老所「ひだまり」の運営

独居高齢者等の引きこもり予防や社会参加をねらいとして宅老所を実施した。

中 止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

ア) 実施場所

小山町健康福祉会館1階・調理実習室他

イ) 利用対象

小山中学校区在住の虚弱高齢者

ウ) 実施内容

茶のみ、世間話、昼食づくりなど

エ) 運営体制

〔運営協力者数〕 3名

オ) 利用実績

〔利用登録者数〕 10名

〔開催日数〕 0日

〔延利用者数〕 0名

〔訪問による活動〕 全2回(12月、3月)

※全利用者及びボランティアに対し、職員による手書きメッセージカードを個別訪問により贈呈した。

(2) サービス提供力を高める

ア 住民参加型福祉サービス“オンリー・ユー♪”の実施

既存の社会保障や福祉制度では十分な対応ができない町民を対象とした有償の「住民参加型福祉サービス“オンリー・ユー♪”」を町内全地区で実施した。サービス運営体制や人材発掘等についての細部調整や広報活動をあわせて展開した。

規模の大幅縮小 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

ア) 事業内容

- ・広報紙やホームページ及び地元マスメディアを活用した広報活動の展開
- ・地域福祉活動情報紙等への掲載
- ・ホームページによる情報提供
- ・案内リーフレットの発行・配布
- ・ふれあい茶論や各種会議等における周知

イ) 登録会員数

利用会員 54名(男性18名・女性36名)

協力会員 15名(男性3名・女性12名)

ウ) 利用実績

延利用回数	20回	前年度比 104回減
延利用時間数	25時間30分	前年度比 33時間00分



イ 高齢者向け配食サービス“おまち堂”の実施【小山町受託事業】

在宅高齢者に対して、栄養改善と見守りを兼ねた配食の提供により介護状態への進行の防止を図り、高齢者が地域において自立した日常生活を営めるよう支援するため、高齢者向け配食サービスを実施した。

ア) 事業内容

- ・高齢者の身体状況に応じたカロリーや食材の大きさや硬さに配慮した食事の調製
- ・利用者宅における直接手渡し方式による食事の配達
- ・配達時における利用者の健康状態や生活状況の確認及び異常時における連絡
- ・配達・見守りボランティアの意識向上と支援技術の習得を図るための研修会開催
- ・生活支援コーディネーターと連携した担い手の発掘 他

イ) 事業の実施主体等

〔事業実施主体〕 高齢者向け配食サービス“おまち堂”コンソーシアム

〔コンソーシアム構成員〕 社会福祉法人小山町社会福祉協議会(代表法人)
社会福祉法人寿康会

ウ) 登録状況

〔利用登録者数〕 28名(男性10名・女性18名)

〔ボランティア申出者数〕 5名(男性 1名・女性 4名)

エ) サービス提供実績

実利用者数	10名	前年度比 1名減
延利用件数	1,423件	前年度比 143件減
うち 助成対象	1,167	
うち 全額自費	256	



〔月別利用件数〕

	普 通 食		計
	助成対象分	全額自費分	
4月	87	20	107
5	77	14	91
6	86	18	104
7	93	17	110
8	87	16	103
9	92	16	108
10	102	26	128
11	93	22	115
12	123	24	147
1	114	23	137
2	109	21	130
3	104	39	143
計	1,167	256	1,423

オ) コンソーシアム運営委員会の開催

〔期 日〕 令和3年2月16日(火)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔出席者〕 出席者 9名(寿康会3名、本会3名、地域包括支援C1名、行政2名)

カ) 配達・見守りボランティア研修会の開催

中 止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

ウ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施

介護保険対象外サービスの一環として、福祉車両を短期で貸し出すことにより、虚弱高齢者や疾病による在宅生活を送る人たちの安心・安全な環境づくりの支援を行った。なお、当該事業の実施にあたっては、居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターとの連携に努めた。

〔利用実績等〕

貸出車両保有台数	軽自動車 1台	
延利用件数	1件	前年度比 22件減

エ 福祉車両貸出福祉有償運送の研究と実施に向けた体制づくりの検討

公共バス路線の廃止縮小や便数の減少により、高齢者を中心に移動が困難になり生活に支障をきたしている。町でも公共交通の見直しやデマンド方式の採用などで対策を進めているが、様々な理由でこれらを利用することができない町民も多い。この解決に向け、地域での充実した生活の実現を図るための研修と検討を行う。

ア) 取組内容

- ・有償運転ボランティアによる運行
- ・低料金での利用
- ・社会福祉法人等との協働(おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議)
- ・先進地視察、体制整備

イ) 取組実績

- ・静岡県下社会福祉協議会『移動支援サービス』運営に係るシステム研究会への参画による運行管理事務等の調査研究
- 〔期 日〕 令和2年9月17日(木)
- 〔会 場〕 静岡県総合社会福祉会館
- 〔出席者〕 本会 1名

オ 社会福祉法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施・協力

- ア) 業務提携先 社会福祉法人富岳会(移動販売車による)
- イ) 実施エリア 小山3区、小山4区、生土区、湯船区、柳島区
- ウ) 実施期間等 令和2年4月～令和3年3月(令和元年3月から継続・拡大実施)
- エ) 実施会場等

区名	巡回会場名	実施回数
小山3区	正福寺駐車場	18回
小山4区	第1コミュニティ広場	18
生土区	小野様宅駐車場	18
湯船区	湯船公民館	18
柳島区	柳島公民館	18



オ) 利用実績

区名	来場者数		売上金額	
	延人数	1回あたりの人数	総額	1回あたりの金額
小山3区	136名	7.6名	1,063,895円	59,105円
小山4区	112	6.2		
生土区	107	5.9		
湯船区	72	4.0		
柳島区	172	9.6		
計	599	33.3		



カ 車椅子短期無料レンタルサービスの実施

介護保険対象外サービスの一環として、車椅子を短期で貸し出すことにより、虚弱高齢者や疾病等による在宅生活を送る人たちの安心・安全な環境づくりのための支援を行った。なお、当該事業の実施にあたっては、居宅介護支援事業所及び小山町地域包括支援センター平成の杜との連携強化に努めた。

[利用実績等]

貸出車椅子保有台数	標準タイプ 8台	
延利用件数	58件	前年度比 5件減

[月別利用件数]

4月	0件	8月	4件	12月	6件
5	5	9	5	1	4
6	3	10	11	2	2
7	5	11	10	3	3

キ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施

高齢者・障害者・子ども等を対象とした交流活動、地域の行事(祭事や体育大会等)、学校における福祉体験等、幅広い地域福祉活動を応援するために各種レクリエーション用品等の無料貸出しを行った。

[利用実績等]

保有台数	22種類・59台	ポップコーン機、綿菓子機 他
延利用件数	0件	前年度比 34件減

(3) 社会福祉法人等との連携による地域課題の解決の推進

社会福祉法人・医療法人・財団法人・NPO法人・営利法人が運営する社会福祉施設や介護サービス事業所の連携・強化を図り、各法人のノウハウを生かして制度の狭間にある地域課題の解決に向けた取り組みをすすめた。

ア おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人(全17法人)

- ・社会福祉法人 ミルトス会(駿東学園)
- ・社会福祉法人 寿康会(徳風園・平成の杜)
- ・社会福祉法人 婦人の園(インマヌエル)
- ・社会福祉法人 小山町社会福祉協議会(小山町社会福祉協議会)
- ・公益社団法人 有隣厚生会(富士小山病院)
- ・医療法人社団 静寿会(おやまの杜)
- ・社会医療法人 青虎会(菜の花の丘)
- ・医療法人社団 沙羅(東富士病院)
- ・特定非営利活動法人 ワークスコープ(わかば)
- ・特定非営利活動法人 おでかけクラブ(大人の笑楽校)
- ・一般社団法人 心和(はあとデイサービスセンター)
- ・株式会社 スルガケアサービス(アンビックおやま)
- ・株式会社 エス・ゴーニー(ふるさと倶楽部)
- ・有限会社 アイティ介護サービス(アイティ介護サービス)
- ・株式会社 グランドスラム(とう菜の里)
- ・株式会社 河村福祉サービス(静岡営業所)
- ・株式会社 縁(訪問看護ステーション大きな木)

イ おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催

[期日] 令和2年3月1日(月)

[会場] 小山町健康福祉会館

[内容] 【課題提起】・小規模法人の連携による取組

(小山町地域包括ケア推進専門監 谷内一夫氏)

【事例報告等】・フードバンクの取組

(社会福祉法人婦人の園 理事長 高橋頼太氏)

[出席者数] 17名(9法人14名・町行政2名・協力者1名)うち Zoomによる参加9名

ウ 福祉・介護人材定着支援事業スキルアップ研修の開催

中止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

エ おやま・福祉のお仕事見学ツアーの開催

中止(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

オ 新型コロナウイルス感染症拡大防止等の対応にかかる調査の実施

ア) 調査実施期間

令和2年4月22日(水)～25日(金)

イ) 調査対象

おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人

ウ) 回収率等

対象法人数	回収数	有効回収数	有効回収率
17法人	17票	17票	100.0%

エ) 調査項目

- ・厚生労働省発出の事務連絡等の内容に取り組むうえでの課題や問題点等
- ・利用者に感染者や感染の疑いのある者が発生した場合の対応
- ・職員本人やその家族に感染者や感染の疑いのある者が発生した場合の対応
- ・現在の状況が長期化した場合に生じてくる不安
- ・事業所として工夫して対応している点 他

カ WEB会議の開催に向けた「WEB会議ツール(アプリ)」導入状況調査の実施

ア) 調査実施期間

令和2年9月8日(火)～15日(火)

イ) 調査対象

おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 構成法人

ウ) 回収率等

対象施設数	回収数	有効回収数	有効回収率
19施設・事業所 (17法人)	18票	18票	94.7%

(4) 法人組織の基盤を強める

ア 法人経営に関する各種会議

ア) 理事会の開催

法人の執行機関として、経営に関する意思を明確にすると共に、経営上の必要事項等を定め、各種事業に関する協議により法人の方向性を定めるなど、法人経営や事業展開に努めた。

第1回理事会 【総数15名中14名出席／出席率93%】

【期日】 令和2年6月11日(木)

【会場】 小山町健康福祉会館

【議題】 第1号報告 会長及び常務理事の職務執行状況

第2号報告 令和元年度一般会計資金収支補正予算(第3号)専決処分の報告

第1号議案 令和元年度事業報告書案の承認

第2号議案 令和元年度一般会計収支決算報告書案の承認

第3号議案 事務局組織規程の変更

第4号議案 職員給与規程の変更

第5号議案 定年退職者の再雇用に関する規程の変更

第6号議案 自家用バス使用規程の廃止

第7号議案 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第1号)の承認

第8号議案 評議員選任候補者の推薦

第9号議案 理事選任候補者の推薦

第10号議案 令和2年度定時(第1回)評議員会の招集

第2回理事会【総数15名中13名出席／出席率87%】

〔期日〕 令和2年9月8日(火)

〔会場〕 小山町健康福祉会館

〔議題〕 第3号報告 会長及び常務理事の職務執行状況
 第4号報告 業務中における自動車事故の報告
 第5号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第2号)の専決処分の報告
 第6号報告 静岡県介護保険施設等の書面指導に係る受検結果
 第7号報告 小山町財政的援助団体に関する監査の受検結果
 第11号議案 副会長の選任
 第12号議案 評議員選任解任委員会委員の選任
 第13号議案 評議員選任候補者の推薦
 第14号議案 処務規程の変更
 第15号議案 就業規程の変更
 第16号議案 職員給与規程の変更
 第17号議案 職員退職手当支給規程の変更
 第18号議案 自動車安全運行管理規程の変更
 第19号議案 役員の報酬等に関する規程の変更

第3回理事会【総数15名中13名出席／出席率87%】

〔期日〕 令和2年12月1日(火)

〔会場〕 小山町健康福祉会館

〔議題〕 第8号報告 会長及び常務理事の職務執行状況
 第9号報告 令和2年度定期監査の受検結果
 第20号議案 評議員選任候補者の選任
 第21号議案 令和2年度臨時(第2回)評議員会の招集

第4回理事会【総数15名中14名出席／出席率93%】

〔期日〕 令和3年3月8日(月)

〔会場〕 小山町健康福祉会館

〔議題〕 第10号報告 会長及び常務理事の職務執行状況
 第11号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第3号)の専決処分の報告
 第22号議案 令和2年度臨時(第2回)評議員会の招集
 第23号議案 苦情解決に関する規程の変更
 第24号議案 事務局組織規程の変更
 第25号議案 育児・介護休業等に関する規程の変更
 第26号議案 職員給与規程の変更
 第27号議案 就業規程の変更
 令和3年度事業計画案の事前協議

第5回理事会【総数15名中14名出席／出席率93%】

〔期日〕 令和3年3月22日(月)

〔会場〕 小山町健康福祉会館

〔議題〕 第28号議案 定款の変更
 第29号議案 令和3年度事業計画案の承認
 第30号議案 令和3年度一般会計資金収支予算案の承認

【理事会出席率】 平均出席率 91%(前年度比 9ポイント増)

第1回	第2回	第3回
93%	87%	87%
平日・昼間(午前)開催	平日・夜間開催	平日・昼間(午後)開催
第4回	第5回	平均
93%	93%	91%
平日・昼間(午後)開催	平日・昼間(午後)開催	

イ) 監事会の開催

会計業務及び理事の業務執行状況及び法人の財産の状況や事業等の監査に努めた。

第1回監事会【総数2名中2名出席】

〔期日〕令和2年5月20日(水)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔種別〕決算監査

第2回監事会【総数2名中1名出席】

〔期日〕令和2年10月26日(月)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔種別〕定期監査

ウ) 評議員会の開催

法人経営上の重要事項の議決機関として、理事・監事の選解任、事業計画・事業報告及び予算(補正予算を含む)・決算の承認等の重要な案件を審議した。

第1回(定時)評議員会【総数36名中28名出席／出席率78%】

〔期日〕令和2年6月26日(金)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔議題〕第1号報告 令和元年度一般会計資金収支補正予算(第3号)の専決処分の報告

第1号議案 理事の選任

第2号議案 令和元年度事業報告書案の承認

第3号議案 令和元年度一般会計収支決算報告書案の承認

第4号議案 令和2年度一般会計補正予算(第1号)の承認

第2回(臨時)評議員会【総数34名中29名出席／出席率85%】

〔期日〕令和2年12月16日(水)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔議題〕第2号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第2号)の専決処分の報告

第3号報告 令和2年度定期監査の受検結果

第5号議案 役員の報酬等に関する規程の変更

第3回(臨時)評議員会【総数35名中29名出席／出席率83%】

〔期日〕令和3年3月25日(木)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔議題〕第4号報告 令和2年度一般会計資金収支補正予算(第3号)の専決処分の報告

第6号議案 定款の変更

第7号議案 令和3年度事業計画案の承認

第8号議案 令和3年度一般会計資金収支予算案の承認

【評議員会出席率】平均出席率 82%(前年度比 10ポイント増)

回	第1回 (定時)	第2回 (臨時)	第3回 (臨時)	平均
出席率	78%	85%	83%	82%
	金曜日 午前開催	水曜日 午前開催	木曜日 午後開催	

エ) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任及び解任の決議を行った。

第8回【定数5名中5名出席／うち外部委員3名中3名出席】

〔期日〕令和2年6月17日(水)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔議題〕第8号議案 評議員の選任

第9回【定数5名中5名出席／うち外部委員3名中3名出席】

〔期日〕令和2年12月2日(水)

〔会場〕小山町健康福祉会館

〔議題〕第9号議案 評議員の選任

オ) 正副会長・常務理事会議

〔期 日〕 令和3年1月13日(水)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔出席者数〕 4名

〔議 題〕 ・評議員定数見直し案の検討
・令和3年度組織体制、基本方針・重点実施項等の素案

カ) 部門責任者会議の開催

第1回〔期 日〕 令和2年12月24日(木)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔出席者数〕 6名

第2回〔期 日〕 令和3年3月16日(火)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔出席者数〕 7名

キ) 職員全体会議の開催

〔期 日〕 令和3年3月31日(水)

〔会 場〕 小山町健康福祉会館

〔出席者数〕 32名(含 令和3年度新規採用者4名)

書面開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

イ 公益通報者保護体制の整備

公益通報者保護法を踏まえ、本会が法令を遵守した経営への取り組みを強化していくために、本会役職員や関連事業者からの通報受理等を行う外部通報窓口を設置した。(本会役職員や委託業者等からの内部告発を受け付けるための窓口のことをいう。)

ア) 委 託 先

あかまつ司法書士事務所(所在地;沼津市下河原町48)

イ) 委託内容

本会職員や関連業者からの通報受理・調査実施等

ウ) 委託料等

通報受理及び調査実績に応じた委託料、調査に要した旅費交通費

エ) 通報受理

0件

ウ 苦情解決体制の整備

本会のサービス事業等についての要望や苦情に対して適切に対応することで、利用者のサービスに対する満足度を高めるとともに、利用者個人の権利を擁護しながら社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で、円滑で円満な問題の解決を図った。

ア) 苦情解決関係者の配置

苦情解決責任者(事務局長)、苦情受付担当者(3名)、第三者委員(2名)

イ) 苦情申し立て等の受付対応実績

〔苦情申立及び要望等の受付件数〕 計1件

〔事業別内訳〕

	内 容							計
	職員 接遇	サー ビス の質 や量	利 用 料	説 明・ 情 報 提 供	被 害・ 損 失	権 利 侵 害	そ の 他	
居宅介護支援	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	1	1

- ウ) 苦情解決委員会の開催
[期 日] 令和2年3月5日(金)
[会 場] 小山町健康福祉会館
[出席者数] 7名
[内 容] サービス提供体制 他

エ 第5次小山町地域福祉活動計画の進行管理

第4次小山町地域福祉計画(町行政)との合同による進行管理を行った。

- ア) 計画実施期間
令和2～6年度(5か年)
- イ) 小山町地域福祉活動計画及び小山町社会福祉協議会地域福祉活動計画推進懇談会の開催
[期 日] 令和3年1月25日(月)
[内 容] ・第4次地域福祉活動計画(前計画)の進捗状況
・第5次地域福祉活動計画(現計画)の推進に係る検討協議
[出席者数] 構成員13名

書面決議(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため)

オ 役職員の資質向上

地域福祉の推進を担う役職員の資質向上を目指し、研修計画に基づいた研修事業を実施した。また、広範囲になっていく福祉関連事業に対応していくために職員への資格取得の機会を促し、専門職集団としての、より質の高い相談支援やサービス提供に努めた。

- ア) 職員内部研修会の開催
- | | | | |
|--------|----|---------------|-----------------|
| 【第1回】 | 期日 | 令和2年6月22日(月) | |
| | 人数 | 9名 | |
| 【第2回】 | 期日 | 令和2年7月6日(月) | |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第3回】 | 期日 | 令和2年7月27日(月) | |
| | 人数 | 7名 | |
| 【第4回】 | 期日 | 令和2年7月31日(金) | ※ 訪問介護事業所 |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第5回】 | 期日 | 令和2年8月11日(火) | |
| | 人数 | 10名 | |
| 【第6回】 | 期日 | 令和2年8月17日(月) | |
| | 人数 | 9名 | |
| 【第7回】 | 期日 | 令和2年8月31日(月) | |
| | 人数 | 11名 | |
| 【第8回】 | 期日 | 令和2年8月31日(月) | ※ 訪問介護事業所 |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第9回】 | 期日 | 令和2年9月7日(月) | |
| | 人数 | 9名 | |
| 【第10回】 | 期日 | 令和2年9月14日(月) | |
| | 人数 | 9名 | |
| 【第11回】 | 期日 | 令和2年9月28日(月) | |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第12回】 | 期日 | 令和2年9月30日(水) | ※ 車両運転時緊急脱出(実技) |
| | 人数 | 23名 | |
| 【第13回】 | 期日 | 令和2年9月30日(水) | ※ 訪問介護事業所 |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第14回】 | 期日 | 令和2年10月5日(月) | |
| | 人数 | 9名 | |
| 【第15回】 | 期日 | 令和2年10月12日(月) | |
| | 人数 | 8名 | |
| 【第16回】 | 期日 | 令和2年10月30日(金) | ※ 訪問介護事業所 |
| | 人数 | 7名 | |
| 【第17回】 | 期日 | 令和2年11月16日(月) | |
| | 人数 | 8名 | |

- 【第18回】 期日 令和2年11月24日(火)
人数 8名
- 【第19回】 期日 令和2年11月30日(月) ※ 訪問介護事業所
人数 8名
- 【第20回】 期日 令和2年12月14日(月)
人数 9名
- 【第21回】 期日 令和2年12月28日(月)
人数 9名
- 【第22回】 期日 令和3年1月25日(月)
人数 8名
- 【第23回】 期日 令和3年1月29日(金) ※ 訪問介護事業所
人数 8名
- 書面開催(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)**
- 【第24回】 期日 令和3年2月1日(月)
人数 9名
- 【第25回】 期日 令和3年2月22日(月)
人数 8名
- 【第26回】 期日 令和3年3月29日(月)
人数 8名
- 【第27回】 期日 令和3年3月31日(水) ※ 訪問介護事業所
人数 7名

イ) 全職員の福祉関係資格取得を目指した支援

個別面談や関係会議等の機会を通じて、支援に関する情報提供を行うとともに、休暇取得等について配慮するなど、自己啓発や資格取得に対する意識の高揚を図った。

ウ) 職員を対象とした通信教育等受講料助成事業の実施

「職員の通信教育講座等研修受講に関する規程」に基づく助成事業の周知を図った。

助成申請受付件数	0件
助成決定件数	0

エ) 静岡県社会福祉協議会等主催の外部研修会等への参加促進 他

【役員及び評議員】

- ・市町社協監事研修<<WEB>>(1名)
- ・安全運転管理者等法定講習(1名)
- ・市町社協会長会議<<WEB>>(2名)

【法人本部・地域福祉推進事業部門】

- ・日常生活自立支援事業新任専門員研修会<<WEB配信形式>>(1名)
- ・成年後見制度の基礎知識及び首長申立に係る実務研修会<<WEB>>(2名)
- ・フードバンクふじのくに視察研修(1名)
- ・会計実務研修会<<WEB>>(1名)
- ・三島市成年後見支援センターコーディネート委員会視察研修(3名)
- ・地域福祉教育担当者会議<<WEB>>(1名)
- ・安全運転実技講習会(1名)
- ・生活困窮者自立相談支援制度相談業務従事者研修会<<WEB>>(1名)
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修・基礎研修<<WEB>>(全2日間)(1名)
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修・応用研修<<WEB>>(全3日間)(1名)
- ・静岡県多文化共生総合センター連携研修会(1名)
- ・生活困窮者自立支援事業従事者養成研修・基礎研修(1名)
- ・日常生活自立支援事業現任生活支援員研修会(4名)
- ・福祉職員向け成年後見制度理解促進研修・基礎編<<WEB>>(1名)
- ・高次脳機能障害支援従事者基礎研修会(1名)
- ・福祉職員向け成年後見制度理解促進研修・応用編<<WEB>>(1名)
- ・社会福祉法人会計実務講座入門・初級コース<<WEB>>(全4日間)(1名)
- ・生活支援コーディネーター養成研修<<WEB>>(1名)
- ・生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修・事例検討<<WEB>>(1名)
- ・市町社会福祉協議会決算実務研修会<<WEB>>(2名)

- ・日常生活自立支援事業福祉関係機関との連携強化研修<<WEB>>(1名)
- ・生活困窮者自立相談支援制度支援員養成研修・基礎研修<<WEB>>(1名)
- ・自立相談支援事業従事者養成研修・相談支援員養成研修<<WEB>>(1名)
- ・災害ボランティア連携・協働研修会<<WEB>>(1名)
- ・伴走型支援士認定講座・更新受講<<WEB>>(1名)
- ・生活困窮者自立支援 農福連携強化シンポジウム<<WEB>>(全2日間)(2名)
- ・自立相談支援事業従事者養成研修・任意事業理解研修<<WEB>>(3名)
- ・コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会<<WEB>>(1名)
- ・総合相談・生活支援事例検討会<<WEB>>(2名)
- ・子どもの学習・生活支援事業セミナー<<WEB>>(1名)

【居宅介護支援事業部門・訪問介護事業部門】

- ・介護支援専門員連絡協議会9月期勉強会<<WEB>>(1名)
- ・静岡県ケアマネ発表会<<WEB>>(1名)
- ・認知症利用者への対応のための知識技術向上研修会<<WEB>>(1名)
- ・第1回静岡DCAT登録員スキルアップ研修会<<WEB>>(1名)
- ・認定調査員現認研修<<WEB>>(2名)
- ・第2回静岡DCAT登録員スキルアップ研修会<<WEB>>(1名)

【障害者就労継続支援事業部門】

- ・市町社協新任職員研修会<<WEB>>(全2日間)(1名)
- ・新型コロナウイルス感染防止対策研修<<WEB>>(6名)
- ・社会福祉法人会計実務講座入門・初級コース<<WEB>>(全4日間)(1名)
- ・市町社会福祉協議会決算実務研修会<<WEB>>(1名)

カ 働き方改革の推進及び労務管理体制の推進

町民の生活課題や福祉ニーズに合わせ、新たな業務増が見込まれるなかで、適正な労務管理・人事管理体制の確立を図るとともに、「年次有給休暇の計画的付与制度(計画年休)」とあわせて、「副業・兼業促進制度」など本会独自の働き方改革を積極的に推進した。また、質の高いサービス提供、従業員のより良い職場環境の整備や今後の雇用管理改善を図った。

ア) 年次有給休暇取得状況(常勤職員のみ掲載) ※ 暦年で算出

年間付与日数	20日間(前期繰越分を除く)
平均取得日数	13.3日
平均取得率	66.5%

イ) 年次有給休暇取得状況の推移

	年間付与日数	平均取得日数	平均取得率
平成26年	20日	9.0日	45.0%
27年	20	6.5	32.5
28年	20	5.2	26.0
29年	20	5.3	26.5
30年	20	9.4	47.0
令和 元年	20	15.8	79.0
2年	20	13.3	66.5

【参考データ】 <厚生労働省 平成30年就労条件総合調査より>

[年次有給休暇平均取得日数・取得率等]

区 分	取得日数	取得率
全 産 業	9.3日	51.1%
福祉・医療	8.9	52.2
2020年までの達成目標		70.0

ウ) 副業・兼業促進制度の活用状況

申請件数	5件	【正規】1 【再雇用】1、【契約】3
うち 許可件数	5	
主な申請理由	接客能力等のスキルアップのため	

エ) 職員互助会に対する研修事業費助成

助成実績	0件（該当事業なし）
------	------------

オ) 駿東勤労者福祉サービスセンター（ベネフィ駿東）への加入等

〔加入者数〕 23名

〔活用実績〕

慶弔給付金	5件
会員の子の小学校入学	1
会員の珊瑚婚(35周年)	2
会員の傷病見舞金	2
インフルエンザ予防接種補助金	22

カ) 職員健康診断の実施

基本健診

〔期 日〕 令和2年8月5日(水)・6日(木)

〔対 象 者〕 23名

〔受 診 者〕 23名(うち 有所見者数22名)

〔未受診者〕 0名

〔受 診 率〕 100%

結核・肺がん健診

〔期 日〕 令和2年8月5日(水)・6日(木)

〔対 象 者〕 23名

〔受 診 者〕 23名(うち 有所見者数2名)

〔未受診者〕 0名

〔受 診 率〕 100%

胃部レントゲン検査

〔期 日〕 令和3年3月1日(月)・3日(水)・8日(月)

〔対 象 者〕 20名

〔受 診 者〕 20名(うち 要精密検査該当者数0名)

※ 含 他機関等での受診者6名

〔受 診 率〕 100%

腰痛検査(問診)

〔期 日〕 令和3年3月6日(土)

〔対象者数〕 8名

〔受診者数〕 8名(うち有所見者数2名)

〔受 診 率〕 100%

キ) 職員のインフルエンザ予防接種に対する助成の実施

感染症拡大防止のために、本会独自で実施した。

対象者	本会職員(日常生活自立支援事業生活支援員及び法人後見事業後見支援員を除く)	
対象期間	令和2年10月1日(木)～11月27日(金)	
助成金額	3,000円(一人あたり)	
対象者数	23名	
申請件数	22件(申請率 95.7%)	
助成件数	22件	

キ 職員の安全運行管理体制の充実

ア) 全業務用車両へのドライブレコーダーの活用

車両保有台数	11台
設置済み台数	11台
主な活用方法	運転指導、事故調査協力等

イ) 職員の交通事故発生状況の把握

〔対象事故〕 職員の起因する人身交通事故

〔報告件数〕 1件(業務時間内における被害案件)

ウ) 御殿場地区安全運転管理協会への重大事故の報告

〔重大事故の定義〕 死亡事故、酒気帯び運転、無免許運転、薬物等運転
ひき逃げ事故

〔報告件数〕 0件

エ) 運転免許証等の所持状況の定期確認

運転免許証や身分証明書の所持状況や更新期限等について現物確認を行うことにより適正な携帯と毀損・紛失防止に努めた。

〔対 象 者〕 全職員(含 非常勤契約職員)

〔確認頻度〕 四半期に1回(年4回以上実施/実施日は不定期)

〔実施実績〕

回	期 間	対象者数	結果
第1回	令和2年6月29日(月)～7月10日(金)	28名	異常なし
第2回	令和2年9月7日(月)～9月23日(水)	28	異常なし
第3回	令和2年11月30日(月)～12月11日(金)	28	異常なし
第4回	令和3年3月8日(月)～3月22日(月)	28	異常なし

オ) 教材を活用した安全運転“個別研修”の実施(※ 再掲)

〔時 期〕 令和2年8月24日(月)～31日(月)

〔対象者数〕 23名(法人後見支援員5名を除く)

〔教材名等〕 「追突事故を防ぐ！自己診断チェック」(御殿場地区安全運転管理協会からの無償提供による)

カ) 安全運転実技講習会への参加(※ 再掲)

〔期 日〕 令和2年10月6日(火)

〔会 場〕 トヨタ安全運転センター・モビリティ(富士スピードウェイ内)

〔参加者数〕 1名(常勤契約職員/女性)

キ) 車両運転時における緊急脱出ツール使用方法実技訓練の実施(※ 再掲)

〔時 期〕 令和2年9月30日(水)

〔対象者数〕 21名

ク 職員の採用及び退職

年度内における職員の採用及び退職の状況については下記のとおりである。

ア) 職員の採用

【契約職員】

〔職種〕 日常生活自立支援事業生活支援員・法人後見事業後見支援員(非常勤)

〔採用人数〕 4名(令和2年4月1日付)

イ) 職員の退職

実績なし

ウ) 職員数の推移

	正 規 職 員					契 約 職 員				再雇用職員				合 計
	事務局長	法人本部・地域福祉推進事業部門	居宅介護支援事業部門	訪問介護事業部門	就労継続支援事業部門	法人本部・地域福祉推進事業部門	居宅介護支援事業部門	訪問介護事業部門	就労継続支援事業部門	法人本部・地域福祉推進事業部門	居宅介護支援事業部門	訪問介護事業部門	就労継続支援事業部門	
年度初	1	3	2	1	2	7	0	7	3	1	0	0	1	28
年度末	1	3	2	1	2	7	0	7	3	1	0	0	1	28
増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ケ 小山町行政や関連機関等との連携強化

本会における適正な法人経営及び時代の潮流に対応した先駆的事業展開に資することを目的として、小山町行政等との日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を行った。

ア) 小山町相談支援包括化ネットワーク会議への出席

計 11回(※ 再掲)

イ) 小山町介護事業所連絡会への出席

【第1回】[期 日] 令和2年7月3日(金)

[出席者] 本会 1名

【第2回】[期 日] 令和2年8月26日(水)

[出席者] 本会 3名

【第3回】[期 日] 令和3年1月7日(木)

[出席者] 本会 2名

ウ) 小山町こころの健康づくり推進連絡会への出席

[期 日] 令和3年2月8日(月)

[出席者] 本会 2名

エ) 小山町健康福祉会館指定管理連絡調整会議への出席

[期 日] 令和2年12月21日(月)

[出席者] 本会 1名

オ) 小山町健康福祉会館消防訓練への参加

[期 日] 令和2年8月31日(月)

[参加者] 本会 8名

コ 静岡県社会福祉協議会との連携強化

本会における適正な法人経営及び先駆的事業展開に資することを目的として、日常的な連携強化を図り、積極的な提言活動を行った。

(5) 安定した自主財源の確保

ア 会員会費の拡充

住民に社会福祉協議会の活動等を広く理解してもらうとともに、効果的かつ先駆的な地域福祉活動を展開していくための基盤強化のため、本会関係者や区長会等の協力を得ながら、会員拡充と財源確保に努めた。(7月を会員増強月間とし運動を展開した。)

ア) 普通会员

- ・区長会を通じた世帯会員の募集・とりまとめ
- ・福祉施設や福祉活動団体に対する加入依頼

[加入実績]

世 帯	5,576世帯	前年度比 34世帯 減
社会福祉法人・福祉団体 及びボランティア団体	36団体	前年度比 4団体 減

イ) 賛助会員

- ・役員等(役員及び事務局職員)による事業所等賛助会員加入依頼訪問活動

[期日] 令和2年7月6日(月)～16日(木) 計5日間

[加入依頼件数] 239件(うち 新規 59件)

[従事者数] 延26名

- ・個人賛助会員に対する郵送での個別協力依頼

[加入実績]

個 人	125名	前年度比 4名 減
事業所等	146事業所・法人	前年度比 17事業所等 減

イ 共同募金運動への積極的協力と配分金の有効活用

社会福祉法人静岡県共同募金会(小山町共同募金委員会)及び区長会や民生委員児童委員協議会と連携し、共同募金運動の促進を図るとともに、配分金の効果的な活用に努めた。

赤い羽根共同募金運動(一般募金)	令和2年10月1日～12月31日
歳末たすけあい募金運動(歳末募金)	令和2年12月1日～31日

ウ リサイクル活動の展開

町民等から寄せられる下記物品の回収及び換金により自主財源の確保につなげた。

(就労支援事業におけるリサイクル事業を除く)

[回収品目] プルタブ、使用済み切手、未使用切手、未使用官製ハガキ 他

エ 小山町における「社会福祉法人の評議員確保支援窓口」の設置

社会福祉法第109条第1項第4号(社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業)及び第110条第1項第1号に基づき、地域の社会福祉法人にかかる評議員の確保に関し、担当部署・担当者を定め、地域の社会福祉法人から要請があった場合には、社会福祉法人の適正な運営に必要な識見を有する人材に関する情報提供等に努めた。

問合せ・相談件数	0件
情報提供件数	0

(1) 居宅介護支援事業所の経営

利用者が住み慣れた居宅において、安心して生活できるように総合的に福祉サービスを調整して支援に努めた。

ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

イ 従業者数(令和3年3月末時点)

- ・管理者(兼 介護支援専門員) 常勤 1名
- ・副管理者(兼 介護支援専門員) 常勤 1名

ウ 業務内容

- ・毎月訪問、モニタリング、アセスメント
- ・サービス担当者会議の開催
- ・ケアプランの作成
- ・内部会議の開催
- ・介護予防プランの作成(小山町地域包括支援センター「平成の杜」受託事業)
- ・要介護認定調査の受託実施(小山町、その他市町村等)
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・事業の啓発活動の実施
- ・介護相談

エー① 介護度別居宅介護支援費提出実績(年間)

要介護1	466件	前年度比 61件 増
要介護2	175	前年度比 2件 増
要介護3	93	前年度比 17件 減
要介護4	83	前年度比 20件 減
要介護5	59	前年度比 12件 減
計	876	前年度比 38件 増

エー② 介護度別居宅介護支援費提出実績(月別)

	介護度別					性別		合計
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	男	女	
4月	38	14	7	10	4	22	51	73
5月	38	15	8	8	3	24	48	72
6月	38	15	8	7	3	23	48	71
7月	40	14	7	6	4	22	49	71
8月	38	14	7	6	4	22	47	69
9月	43	14	7	7	6	23	54	77
10月	42	15	7	7	5	25	51	76
11月	39	15	8	7	5	25	49	74
12月	38	15	9	7	7	25	51	76
1月	38	14	9	6	6	25	48	73
2月	38	14	8	7	6	25	48	73
3月	36	16	8	5	6	25	46	71
計	466	175	93	83	59	286	590	876

オー① 介護度別介護予防サービス計画提出実績(年間)

【小山町地域包括支援センター受託事業】

要支援1	44件	前年度比 2件 増
要支援2	78	前年度比 5件 減
計	122	前年度比 3件 減

オー② 介護度別介護予防サービス計画提出実績(月別)

【小山町地域包括支援センター受託事業】

	介護度別		性別		合計
	要支援1	要支援2	男	女	
4月	4	7	5	6	11
5月	4	7	5	6	11
6月	4	6	4	6	10
7月	3	6	4	5	9
8月	3	7	5	5	10
9月	3	7	5	5	10
10月	4	6	5	5	10
11月	4	6	5	5	10
12月	4	6	5	5	10
1月	4	6	5	5	10
2月	4	6	5	5	10
3月	3	8	4	7	11
計	44	78	57	65	122

カ 要介護認定調査の実施【小山町及びその他市区町村受託事業】

受託件数 42件（前年度比 57件 減）

都道府県名	市区町村名等	件 数	
		小計	合計
静岡県	小山町	36	36
	熱海市	1	2
	富士宮市	1	
神奈川県	横須賀市	1	2
	伊勢原市	1	
東京都	狛江市	1	1
長野県	茅野市(諏訪広域連合)	1	1
総 計		42	42

(2) 訪問介護事業所の経営

居宅で生活する高齢者が要介護状態又は要支援状態であっても、食事・排泄・入浴の介護、その他の日常生活にわたる援助を行うことにより、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を送ることができるよう支援した。

ア 事業所の名称

小山町社会福祉協議会 訪問介護事業所

イ 従業者数(令和3年3月末時点)

- ・管理者(兼 サービス提供責任者 兼 ホームヘルパー) 常勤1名
- ・ホームヘルパー 常勤1名・非常勤6名

ウ 実施事業

- ・訪問介護事業
- ・総合事業第1号 訪問介護相当サービス事業
- ・総合事業第1号 訪問型サービスA事業

エ 業務内容

- ・ケアプランに沿ったサービス提供
- ・サービス担当者会議への出席
- ・関係機関との連絡調整による利用者支援
- ・介護サービス情報公表の対応
- ・従事者の知識・技術向上によるサービスの質の確保(研修計画による)
- ・事業の啓発活動の実施

オー① 介護度別請求実績(年間)

	介護度別							
	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
延利用者数	47	42	73	75	44	16	12	19
	延328名 (前年度比 47名 増)							
延利用件数	延4,196件 (前年度比 741件 増)							

オー② 介護度別請求実績(月別)

	要介護度別								延利用者数	延利用件数
	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	1	3	5	8	1	1	2	2	23	316
5月	4	3	4	7	3	1	3	1	26	322
6月	3	3	5	7	3	1	3	1	26	294
7月	4	4	6	7	4	1	2	1	29	334
8月	4	3	7	7	4	1	0	1	27	296
9月	4	3	7	6	4	1	2	2	29	355
10月	4	3	6	6	4	1	0	2	26	374
11月	4	4	7	5	4	2	0	2	28	386
12月	5	4	6	5	4	2	0	2	28	376
1月	5	4	6	6	4	2	0	2	29	377
2月	4	4	6	5	5	1	0	2	27	335
3月	5	4	8	6	4	2	0	1	30	431
計	47	42	73	75	44	16	12	19	328	4,196

カ 訪問介護事業ケース検討会議の開催

第1回	[期 日]	令和2年7月31日(金)
	[出席者数]	8名
第2回	[期 日]	令和2年8月31日(月)
	[出席者数]	8名
第3回	[期 日]	令和2年9月30日(水)
	[出席者数]	8名
第4回	[期 日]	令和2年10月30日(金)
	[出席者数]	7名
第5回	[期 日]	令和2年11月30日(月)
	[出席者数]	8名
第6回	[期 日]	令和3年1月29日(金)
	[出席者数]	8名
	書面開催(新型コロナウイルス感染症感染拡大対策のため)	
第7回	[期 日]	令和3年3月31日(水)
	[出席者数]	7名

(1) 居宅介護事業の経営

身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者が在宅で安心して暮らすことができるよう入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言並びにその他の日常生活における援助を行った。なお、事業所名、従事者数、業務内容は、訪問介護事業と同様である。

アー① サービス提供実績(年間)

実利用者数	3名	前年度比 1名 減
延訪問回数	122回	前年度比 436回 減
延訪問時間数	131.5時間	前年度比 316.25時間 減

アー② サービス提供実績(月別)

	実利用者数	延訪問回数	延訪問時間数
4月	2名	8回	10.0時間
5月	2	6	7.5
6月	2	8	10.0
7月	2	9	9.0
8月	2	6	8.0
9月	2	7	9.0
10月	2	13	13.0
11月	2	10	10.0
12月	2	11	11.0
1月	3	13	13.0
2月	3	14	14.0
3月	3	17	17.0
計	—	122	131.5

(2) 就労継続支援B型事業の経営

障がいのある人に対し、就労や生産活動の機会を提供した。また、作業だけでなく、職業習慣の確立、マナー、挨拶、身だしなみなどの訓練コミュニケーションの確立に向けての支援を行った。なお、作業収入から必要経費を控除した額を工賃として利用者に支給している。

ア 事業所の名称

ワークホーム・アップル(所在地;小山町菅沼253-1)

イ 従業者数(令和3年3月末時点)

・管理者(兼 職業指導員) 1名(常勤)
 ・サービス管理責任者(兼 職業指導員) 1名(常勤)
 ・生活支援員(兼 職業指導員) 1名(常勤)
 ・職業指導員 3名(非常勤)

ウ 利用定員

12名

エ 利用実人数

13名 (前年度比 1名 増)

内 訳	居住地別	小 山 町	12名	男性	5名(含 契約終了1、新規契約1)
				女性	7名(含 契約終了1)
		御殿場市	1名	男性	1名
				女性	0名

オ 事業内容

- ・自主事業(クッキー、ケーキ、縫製品等)
- ・受託事業
- ・自動販売機事業(小山町健康福祉会館2基)
- ・リサイクル事業
- ・喫茶事業(サテライト施設「カフェ・ポム」／小山町役場本庁1階)
- ・食堂事業(サテライト施設「町民食堂ごちそうさん」／小山町役場本庁地階)

カー① 利用実績(年間)

開所日数	238日	前年度比 2日 増
延利用者数	2,398名	前年度比 191名 減
平均利用率	90.84%	前年度比 5.1ポイント 減
月額平均工賃	23,306円	前年度比 494円 減

カー② 利用実績(月別)

月別	開所日数	延利用者数	利用率	訓練等給付費収入
4月	21日	220名	94.81%	1,600,082円
5月	18	186	88.89	1,348,160
6月	22	231	90.08	1,630,225
7月	21	235	97.40	1,697,997
8月	16	163	86.93	1,178,758
9月	20	210	88.18	1,522,463
10月	22	227	89.26	1,641,710
11月	19	198	89.00	1,431,614
12月	20	191	81.82	1,381,067
1月	19	179	88.95	1,296,466
2月	18	150	97.78	1,217,416
3月	22	212	97.00	1,537,657
計	238	2,398	—	—

キ【参考データ】令和元年度 静岡県内就労継続支援B型事業所 月額平均工賃実績

静岡県全体	16,511円	就労継続支援B型事業所数 計366事業所
ワークホーム・アップル	23,800円	第40位／366事業所中

ク 年間事業一覧(抜粋)

年月日	実施内容	場所	参加人数
02.05.28	保護者会(書面協議)	—	12
02.06.30	第1回防災訓練	アップル本体施設	12
02.08.03	NEXCO中日本受託 草刈作業	東名高架下	16
02.09.18	絵画教室(オールしずおかBC主催)	アップル本体施設	11
02.10.23	第2回防災訓練	アップル本体施設	3
02.11.06	第3回防災訓練	アップル本体施設	13
02.12.04	御殿場特別支援学校への営業活動	御殿場特別支援学校	2
03.03.03	第4回防災訓練	アップル本体施設	9

ケ 小山町コロナウイルス感染症対策地域経済活性化事業「おやま応援プレミアム商品券」取扱事業所登録による協力

〔取扱期間〕 令和2年10月1日(木)～令和3年1月31日(日)

〔協力店舗〕 カフェ・ポム、町民食堂ごちそうさん

コ 取引先事業所数

自主事業	6事業所
受託事業	10事業所
自動販売機事業	2事業所
リサイクル事業	3事業所

(1) 行政関係機関による監査及び実地指導等の受検

静岡県等の行政関係機関による監査及び実地指導を受検し、助言指導等受検結果については、理事会の席上において報告するとともに、早急に改善するなどの措置を講じ、本会の経営改善や適正な事業展開に反映させた。

ア 小山町監査委員による財政的援助団体に関する監査

【期 日】 令和2年6月16日(火)

【実施者】 小山町監査委員

【受検結果】 指導・指摘事項 0件

イ 介護保険施設等の書面指導の受検

【対象事業】 訪問介護事業

【期 日】 令和2年6月18日(木)

【実施者】 静岡県(健康福祉部福祉指導課)

【受検結果】 指摘事項 0件、助言事項 0件

(2) 各種団体等との共催・後援・協賛・運営・連携事業の展開

福祉・医療・文化・まちづくり等をねらいとした事業について、本会の経営理念等と関連性が高い場合に、共催・後援・事業連携等により積極的な事業展開を図った。

ア 共催事業

【事業名】 第16回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練

中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

イ 後援事業

【事業名】 第22回高齢者芸能発表大会「創年のつどい」

中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

ウ 協力事業

【事業名】 令和2年度障害者週間講演会

中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)

(3) 各種表彰候補者推薦事務の実施

小山町内における地域福祉活動に功労のあった人を表彰し、その功を讃え、労をねぎらい、もって地域福祉の進展に資することを目的として各種表彰候補者の推薦を行った。

ア 小山町社会福祉協議会会長表彰

ア) 推薦件数

【保護司功労】

1名

【社会福祉法人役員、社会福祉施設・事業所・従事者功労】

11名

【社会福祉事業に対する金品寄附感謝状】

2団体・2名

計2団体・14個人

イ) 決定件数

推薦件数と同じ

イ 静岡県社会福祉協議会会長表彰

ア) 推薦件数

【保護司功労】

1名

【社会福祉法人役員、社会福祉施設・事業所・従事者功労】

4名

【町社会福祉協議会役員・従事者功労】

4名

計9名

イ) 決定件数

推薦件数と同じ

ウ 御殿場地区安全運転管理協会会長表彰

ア) 推薦件数

【優良運転者(会長単名表彰)】

4名

計4名

イ) 決定件数

【優良運転者(会長単名表彰)】

3名

計3名

(4) 他機関・団体からの表彰

ア アルミ缶リサイクル協会

〔区 分〕 2020年度アルミ缶一般回収協力者表彰(優秀賞)
〔受賞部門等〕 就労継続支援部門(ワークホーム・アップル)

(5) 各種研修会講師等としての役職員派遣の実施

県内外の関係団体が主催する研修事業の講師や事例提供者等として本会役職員を派遣し、ネットワークの拡充・強化を図った。

ア 小山町民生委員児童委員協議会主催

〔派遣役職員〕 原 秀人(常務理事・事務局長)
〔事業名〕 6月度定例会研修(社会福祉協議会の役割等について)
〔期 日〕 令和2年6月24日(水)
〔会 場〕 小山町総合文化会館

イ 奥多摩町社会福祉協議会主催

〔派遣役職員〕 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)
〔事業名〕 災害ボランティアセンター設立マニュアル改定作業委員会研修
〔期 日〕 令和2年8月6日(木)
〔会 場〕 奥多摩町福祉会館(東京都)

ウ 小山町民生委員児童委員協議会主催

〔派遣役職員〕 原 秀人(常務理事・事務局長)
〔事業名〕 2月度定例会研修(フードバンクについて)
〔期 日〕 令和3年2月24日(水)
〔会 場〕 小山町総合文化会館

(6) 県内外からの視察・研修の受け入れ

本会及び小山町内の地域福祉活動などについて、希望のテーマをもとに実践事例を提供するなど、受入要領を定めたうえで、県内外の社会福祉協議会や福祉関係団体からの視察・研修の受け入れを積極的に行った。

〔受入実績〕 なし

(7) 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録促進及び活動の連携

大規模災害時に避難所などで福祉的な配慮が必要な人を見つけ出して支援する静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT/Disaster Welfare Assistance Team)が、平成29年9月に始動した。被災後に持病の悪化や環境変化による心身の不調などで亡くなる災害関連死は、東日本大震災や熊本地震などで繰り返しの問題になっている。南海トラフ巨大地震に備える静岡県で、地震の揺れや津波などから逃れた災害弱者をどう守るか、静岡県社会福祉協議会を中心に関係団体が連携し、登録員の養成を進めている。

静岡DWATとは、社会福祉士、介護福祉士、保育士等の有資格者で、所定の研修を修了した者の中から1チーム5名程度で編成する福祉専門職チームである。災害発生後、被災した市町から静岡県に派遣要請があると、ネットワーク事務局(静岡県社会福祉協議会)がチームを編成して被災地へ派遣する。隊員は災害発生5日後から1カ月後までの間において、被災した市町が指定する避難所や福祉避難所で支援活動を行う。活動内容には、福祉的トリージ、環境整備、移送支援、医療支援チームとの連携がある。

〔本会の登録職員数〕 1名(女性/第1期修了者/平成30年1月 岡山県真備町派遣)
〔登録職員派遣回数〕 0回(派遣要請実績なし)

(8) 関係機関・団体の委員等就任による提言活動

関係機関や団体の委員等就任による積極的な提言活動を行った。

ア 滝口 正(会長)

小山町総合計画審議会 委員
小山町地域公共交通会議 委員
小山町要保護準要保護児童対策地域協議会 委員
小山町まち・ひと・しごと創生会議 委員
社会を明るくする運動小山町推進委員会 委員
小山町空家対策協議会 委員
2020東京オリンピック・パラリンピック小山町開催支援協議会 委員
小山町地域福祉計画推進懇談会 構成員
小山町障害者計画等推進懇談会 構成員

イ 原 秀人(常務理事・事務局長)

静岡県社会福祉協議会企画調査委員会 委員
 静岡県社会福祉協議会地域における公益的な取組推進部会 委員
 小山町介護保険等総合会議 委員
 小山町地域包括支援センター運営委員会 委員
 福祉有償運送運営協議会 委員
 小山町社会教育委員
 小山町生涯学習推進委員会 委員

ウ 松田直樹(統括地域福祉プロデューサー)

静岡県下社会福祉協議会『移動支援サービス』運営に係るシステム研究会 構成員
 静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会総務部会 幹事
 全国健康保険協会静岡支部健康保険委員

エ 五十井真琴(地域福祉プロデューサー)

御殿場・小山フードバンク協議会 構成員

オ 勝俣千春(ワークホーム・アップル サービス管理責任者)

小山町障害支援区分判定審査会 委員

社会福祉法人としての「地域における公益的な取組」(再掲)

- ① 静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)への登録及び活動の連携
- ② 運転免許自主返納者等サポート事業への協力
- ③ 福祉車両貸出事業及び福祉車両取扱講習の実施
- ④ 車椅子短期無料貸出事業の実施
- ⑤ 福祉おたすけグッズ(地域福祉活動用資機材)貸出事業の実施
- ⑥ 福祉系大学や専門学校学生等実習生の受け入れ
- ⑦ 中学生職場体験学習の受け入れ
- ⑧ 生活困窮世帯等を対象とする緊急食糧支援事業の実施
- ⑨ 「小山町みんなの食堂」お弁当配布事業の連携実施
- ⑩ 法人後見事業の実施
- ⑪ 宅老所「ひだまり」の運営
- ⑫ 住民参加型福祉サービス“オンリー・ユー♪”の実施
- ⑬ 高齢者向け配食サービス“おまち堂”の実施
- ⑭ 「おやま健康マイレージ事業」への協賛
- ⑮ おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議の開催
- ⑯ 施設経営法人との連携による「県境エリア対象・移動販売事業」の実施



新型コロナウイルス感染拡大防止の積極的取組により“感染者ゼロ”

「自分自身」・「大切な人」・「職場の仲間」・「ご利用者等」を守る！

通 年	会議や主催事業は優先度等を考慮し開催(中止・規模縮小等もあり)		
	5名以上の大人数による会食は原則として自粛		
令和2年4月20日(月) ～5月6日(水)	法人本部・地域福祉推進事業部門職員の「在宅ワーク」を導入		
令和2年5月7日(木) ～29日(金)	居宅介護支援事業所及び訪問介護事業所の事務所機能の一時移転(3階・ヘルスアップルームへ)		
令和2年4月20日(月) ～5月29日(金)	勤務時間の変更(15分短縮)		
	ワークホーム・アップル	本体施設	利用者を午前・午後に分散
		町民食堂 ごちそうさん	麺類のみの提供
		カフェ・ボム	出張販売を休止



2023年12月 法人化40周年を迎えます！

